

令和2年度 社会福祉施設職員研修

◆業種別研修◆

【 老人福祉施設職員研修 I 】

テ ー マ	拘縮の予防・改善のための介護		
趣 旨	高齢者に多く起きる拘縮は、スムーズな動作を困難にし、生活に支障を生じさせます。拘縮を予防・改善するには、本人の残存能力を引き出すという観点から介護をすることが重要です。そのためには、生活状況だけでなく、身体状況を正確に把握し、相手を深く知ることが重要です。また、正しいポジショニング方法を学び、残存能力を引き出す介護は、介護者の負担軽減にもつながります。		
対 象 者	県内老人福祉施設職員	定 員	80名
期 日	5月15日(金)	会 場	三重県社会福祉会館 講堂
講 師	株式会社 大起エンゼルヘルプ 理学療法士 田中 義行 氏		

【 老人福祉施設職員研修 II 】

テ ー マ	よりよい支援のための業務改善 ～介護現場に求められるリーダーの役割・心得とは～		
趣 旨	高齢者を支援する福祉施設における中堅職員やリーダー職員は、サービスの中心的担い手であり、チームのなかで上司や他のメンバーと良好な関係を形成しつつ、関係者と連携をはかりながら業務にあたっています。 本研修は、施設の顔ともいえる中堅職員やリーダー職員に必要とされる役割や心得等を今一度学ぶ機会として開催します。		
対 象 者	県内老人福祉施設職員 (中堅以上の指導的役割を担う職員を推奨)	定 員	80名
期 日	6月22日(月)	会 場	三重県社会福祉会館 講堂
講 師	湖山医療福祉グループ 医療法人財団 百葉の会 人材開発室部長兼静岡富士宮事業部 サービス管理部長 高口 光子 氏		

【 障害福祉施設職員研修 I 】

テ ー マ	ASD・知的障がい児者支援のための基礎知識		
趣 旨	ASD(自閉症スペクトラム障害)や知的障がいについて、基礎的な知識を身につけることで、より良い支援のあり方を考えられる職員を養成することを目的に開催します。		
対 象 者	県内障害福祉施設職員	定 員	60名
期 日	6月26日(金)	会 場	三重県社会福祉会館 講堂
講 師	三重県子ども心身発達医療センター センター長 金井 剛 氏		

【 障害福祉施設職員研修 II 】

テ ー マ	地域共生社会実現に向けた障がい者の地域移行の取組		
趣 旨	厚生労働省は、平成29年に地域共生社会の実現に向けた工程を示しており、さらなる取組が求められます。また、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム推進を明示しており、幅広い支援者への働きかけが重要です。加えて、地域生活支援拠点を、令和2年度末までに各市町村又は各圏域に少なくとも一つを整備することを基本とする目標を掲げています。 このように、障がい者の地域生活を支援する取組はいっそう重要となっており本研修では事例をふまえながら支援のあり方を学びます。		
対 象 者	県内障害福祉施設職員	定 員	60名
期 日	調整中	会 場	調整中
講 師	三重短期大学 生活科学科 准教授 武田 誠一 氏		

【 児童福祉施設職員研修 】

テ ー マ	発達障がい児への理解と支援		
趣 旨	一口に発達障がいといっても、症状や生活の困りごとは異なり、児童一人ひとりに向き合って支援することが必要です。発達障がいの児童へよりよい支援をするためには、発達障がいへの理解を深めることがまず重要です。		
対 象 者	児童福祉施設職員	定 員	40名
期 日	5月25日(月)	会 場	三重県社会福祉会館 講堂
講 師	NPO 法人 ライフ・ステージ・サポートみえ 理事長 西田 寿美 氏		

【 保育所(園)職員研修 】

テ ー マ	保育所における食物アレルギー対策		
趣 旨	近年、生活環境の変化等によってアレルギー症状を持っている子どもたちが増加しています。特に、食物アレルギーについては、子どもの生命に関わることもあり、十分な備えが必要です。本研修では、アレルギーへの正しい知識と対策について学び、もって保育環境の改善につなげることを目的として開催します。		
対 象 者	県内保育所(園)保育士	定 員	80名
期 日	6月16日(火)	会 場	三重県社会福祉会館 講堂
講 師	三重病院 成育診療科 医長 貝沼 圭吾 氏		

◆課題別専門研修◆

【課題別専門研修Ⅰ】

テ ー マ	社会福祉施設における介護ロボット・ICTの活用 ～最先端の技術が描き出す未来のビジョン～		
趣 旨	福祉業界の人材不足が深刻化するなか、厚生労働省は介護ロボット・ICTの活用を促進しています。また、三重県においても、介護ロボットの導入による介護職員の身体的負担の軽減やICTの活用による業務の効率化を支援するための予算を確保しています。 本研修では、これらを活用した支援を展開する最先端の事例から学び、福祉現場の環境改善に資することを目的に開催します。		
対 象 者	県内福祉施設職員	定 員	80名
期 日	7月8日(水)	会 場	三重県社会福祉会館講堂
講 師	社会福祉法人 善光会理事 最高執行責任者統括施設局長 特別養護老人ホーム フロース東糀谷 施設長 宮本 隆史 氏		

【課題別専門研修Ⅱ】

テ ー マ	人口減少社会における持続可能な事業運営～SDGsの視点から考える～		
趣 旨	我が国は人口減少時代を迎え、従業員の確保が困難になり人材不足が叫ばれています。社会から選ばれる法人でなければ、事業を継続していくことは難しいでしょう。すでに多くの一般企業では、国連で採択されたSDGsを意識した取組を展開するなど、社会課題解決に向けた動きが加速しています。 本研修では、新たな時代における社会が求める法人の姿を捉え、よりよい経営のあり方について学びます。		
対 象 者	県内福祉施設職員 (管理者、総務担当)	定 員	60名
期 日	7月1日(水)	会 場	三重県社会福祉会館 講堂
講 師	三重大学 人文学部 法律経済学科 青木 雅生 氏		

※SDGs (エス・ディー・ジー・ズ) : Sustainable Development Goals の略。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される。

【 課題別専門研修 III 】

テ ー マ	クレーム（苦情・改善要望）への適切な対応		
趣 旨	<p>社会福祉施設等の職員は、利用者や家族などから、サービス内容や接遇等についてクレームを受けることがしばしばあります。その対応を誤ると、双方の信頼関係に傷がつくだけでなく、施設全体への社会的評価にも影響を及ぼす事態へ発展しかねません。</p> <p>本研修では、クレーム発生の原因を理解し、適切な対応に必要なことを学び、クレームによるトラブルを未然に防ぐことを目的に開催します。</p>		
対 象 者	県内福祉施設職員	定 員	60名
期 日	6月2日（火）	会 場	三重県社会福祉会館 講堂
講 師	コーチングオフィス クラリオン 代表 大木 孝仁 氏		

【 課題別専門研修 IV 】

テ ー マ	風通しの良い職場づくりのためのメンタルヘルス ～ストレスが原因の離職を防ごう～		
趣 旨	<p>ストレスチェック制度の導入がされて5年近くが経過します。単に高ストレス者を把握するだけではなく、職員自身へストレスへの気づきを促したり、ストレスを溜めない職場づくりに取組んだりすることが必要です。</p> <p>本研修では、風通しが良く相談しやすい職場の雰囲気醸成する方法を学び、職員のメンタル不調を未然に防ぐことを目的に開催します。</p>		
対 象 者	県内福祉施設職員 (総務・人事担当、管理職を推奨)	定 員	60名
期 日	6月24日（水）	会 場	三重県社会福祉会館 講堂
講 師	株式会社インソース 石上 千文 氏		

※どなたでも御参加いただけますが、総務・人事担当及び管理職を推奨します。

【 課題別専門研修 V 】

テ ー マ	人材育成のためのスーパービジョン		
趣 旨	<p>スーパービジョンとは、対人援助を行う職員が指導者による定期的な面接・訓練を通じ専門的能力を向上させる教育課程をいいます。スーパービジョンの実践は、サービスの質の向上だけでなく、職員の定着にも影響を与えます。組織としてスーパービジョン体制を構築することは、安定的に組織を運営するためにも重要です。</p> <p>本研修では、スーパービジョンによる指導方法や体制構築方法を学び、中堅以上の指導的立場にある職員の指導力向上に資することを目指します。</p>		
対 象 者	県内福祉施設職員 (中堅以上の指導的役割を担う職員)	定 員	60名
期 日	5月27日（水）	会 場	三重県社会福祉会館 講堂
講 師	ソーシャルワーカー・サポートセンター名古屋 代表 浅野 正嗣 氏		